

スクリーンの生地交換について

スクリーン表面生地の汚れ・キズ等で、映像に支障がでたり、あるいはスクリーン生地をパールからビーズに替えたいといった場合にはスクリーンの生地のみを交換することができます。詳しくはご相談ください。

スクリーンの用語

タリー

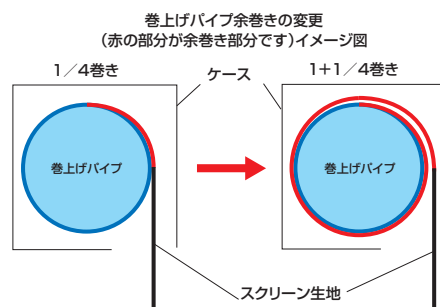
P/T/Bセレクションの電動スクリーン標準回路にはタリー出力があります。プロジェクターとの連動や、動作中のランプ表示など、様々な用途に利用できます。

リミッター設定

電動スクリーンには、リミットスイッチが付いており、収納位置と映写位置で自動的にスクリーンは停止するよう設計されています。収納位置（上限）と映写位置（最下限）は工場出荷時に設定済みです。プロジェクターに合わせ映写位置を上げたい場合には、実際にお使いになる環境に合わせて設定をしてください。機種により、設定方法が異なります。設定の変更が必要な場合は、製品に同梱されています説明書をよく読んで行ってください。尚、収納位置（上限）と映写位置（下限）の間であれば、操作スイッチの「STOP」ボタンを押す事により、リミット設定に関係なく、スクリーンを停止する事ができます。

余巻き

オーエスでは、スクリーンの巻き上げパイプに巻かれる、“余巻き”と呼ぶ巻き上げ量につき、製造基準を設けています。パイプに対し、1巻きと四分の一を巻くことで安全を確保する意味を持ちます。黄色いストップシールの位置は余巻位置の印です。安全にお使いいただけますために、ご理解をお願いいたします。

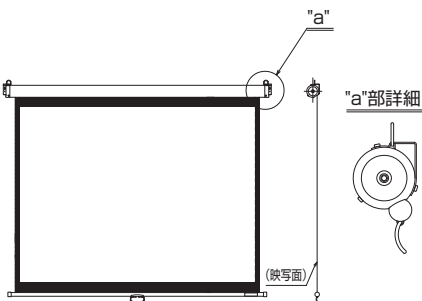


逆巻き

オーエスではお客様の視聴環境に応じたスクリーンの巻き上げ設定をご注文いただけます。間違えやすい呼称ですので、規格品以外の特注のご注文の際には、繰り返しご確認ください。

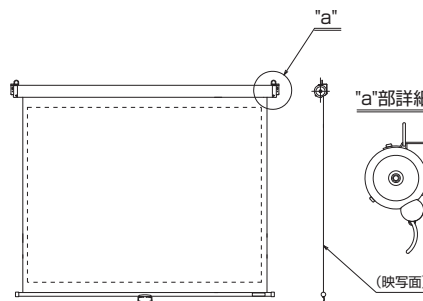
正巻き

オーエスの規格品です。通常はこちらを推奨いたします。



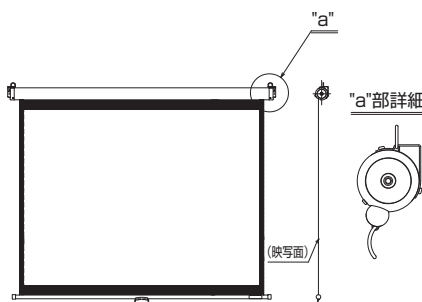
反転

下がり天井などに設置し、ケースの裏を幕面にしたい場合など生地を反転いたします。



逆巻き

ケースの前後を通常の状態と変えず、巻き上げローラーを逆に回転させ、ケースの前側から生地を巻きます。そのため機種によっては下パイプが隠れない構造になります。



逆巻き反転

逆巻きの状態で生地を反転したものです。

